

鼻から肺まで

日時

令和3年8月17日(火) 9:00-17:00 (1日開催)

開催方法

オンライン開催、開催後オンデマンド配信 3ヶ月

参加定員

なし

参加費

会員 5000円・非会員 7000円

Veterinary
Respiratory
Medicine and
Surgery



獣医呼吸器内科と外科

ごあいさつ

2018年に犬・猫の呼吸器臨床研究会を立ち上げました。呼吸器臨床の基本と基礎から見直し、理論に基づいた実践を目指す研究会です。今回は2回目の年次大会となり、鼻から肺までの疾患を広く深く見直したいと思います。呼吸器疾患は単独で生じることが少なく、常に上気道、中枢気道、末梢気道・肺実質疾患を系統的に関連づけて考察して治療にとりかからないと治療成果は得られません。それが呼吸器疾患の治療がうまくいかない最大の理由です。それには、鼻から肺までの主要な疾患を知る必要があります。また症例報告や症例相談の時間枠も設け、特異的なディスカッションもいたします。オンライン開催で、開催後にオンデマンド配信も行いますので、日頃ご多忙な先生方もお気軽に参加、視聴可能です。ぜひご参加ください。



VeRMS Study Group 代表 犬・猫の呼吸器科 院長 城下 幸仁

タイムスケジュール

9:00-12:00 総論 犬・猫の呼吸器の代表的な疾患 城下幸仁(犬・猫の呼吸器科) ライブにて講義と質疑応答



前部鼻鏡検査



喉頭および気管支鏡検査



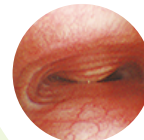
鼻腔内異物



喉頭虚脱ステージ3



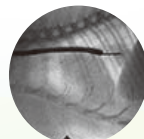
気管内腫瘍



原発性気管虚脱グレード4



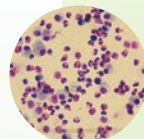
猫の間質性肺疾患



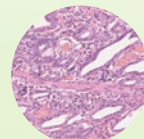
経気管支肺炎



経気管支針穿刺吸引



BALF 細胞診



肺病理組織

13:00-13:50 研究会業績報告 喉頭蓋の後傾の病態と治療 稲葉健一(犬・猫の呼吸器科) 講義(録画)と質疑応答(ライブ)

14:00-15:00 症例報告 2題 1時間 各演題15分発表(録画)+10分質疑応答(ライブ)

16:00-17:00 症例相談 3題 1時間 各演題10分発表(録画)+質問回答(ライブ)

*開催中質問受付コーナーをつくり終日チャットで対応

開催後 17:30-18:30

自由参加で別会場にて、症例相談、質疑応答、討論会など

- 1) 症例報告:来院経緯、症状の動画データ、身体検査・血液検査・X線検査・透視検査・動脈血ガス分析などの一次検査所見、鑑別疾患リスト、CT検査、気管支鏡検査、鼻鏡検査、BALF解析や病理診断、確定診断、内科治療または外科治療、治療転帰(治療後少なくとも2ヶ月経過、できれば6ヶ月以上の経過観察あり)、などの詳細データが全て揃っているもの。
- 2) 症例相談:確定診断には至っていないが、本研究会で相談したい症例。1)、2)とも用語や基準は研究会HP (<https://www.sagamigaoka-ac.com/respiratory/> 犬・猫の呼吸器臨床研究会 verms-study-group について) をご参照ください

演題締切りは、5月31日(月)です。応募後、研究会内の主に大学教官からなる委員会(呼吸器、循環器、病理)で審査を行います。審査が通りましたら、400字以内の抄録を6月30日まで、演題概要(ppt配布資料PDF)は7月15日までに提出をお願いします。演題発表者には参加費全額免除とし、研究会より症例報告には表彰状、症例相談には感謝状を贈呈いたします。